



大好き田底

熊本市立田底小学校

令和元年 5月8日

No. 8

文責:福富 和博

学校教育目標

「豊かな心と確かな学力を持ち、心身ともにたくましい児童の育成
(人権教育を根底にした人づくり)」

目指す子供像

- 自他を大切に、前向きな思考をする子ども
- 進んで学習し、自己表現を楽しむ子ども
- 十分な運動と睡眠で、元気に生活する子ども

田底小スローガン

- 自分と周りの人を大切にしよう。
- 考え話し合いどんどんやってみよう。

一人ひとりの子どもを大切にする

私たちが含め、人はいろいろな個性を持っています。個性があるって素晴らしいことですね。ですから、田底小学校では一人ひとりの個性を大事にした教育実践を行っています。もっと簡単に言えば、「一人ひとりの子どもをしっかりと見つめて、その子どもに応じた教育をする。」ということです。そのための一方法として、教員の検討委員会「学習支援委員会」と「生活支援委員会」を設置しています。学習支援委員会では、学びに対して困り感がみられる子どもたちに、どのようにして学習指導上の配慮をすればいいのか具体的方法の検討をします。その後、決定事項を全職員で共通理解を図り、共通実践をします。実践後は、配慮方法について再検討も行っています。生活支援委員会では、学校生活において困り感のある子どもたちにどのように配慮していけばいいのかの検討を行います。あとは、学習支援委員会と同じで検討と共通理解と共通実践、振り返りです。 一人ひとりを大切にします。

学校集会で話をしました。(絵を見せながら話しました。以下は概略です。)

私の大好きな人の写真です。(子供たち全員の写真)私は皆さんが大好きだから「こうなってほしいな」と思うことを話します。それは田底小学校のスローガンである「自分と周りの人を大切にしよう。考え話し合いどんどんやってみよう。」です。今日は、自分と周りの人を大切にするにはどうしたらいいかを話します。方法はたくさんありますが、その一つで校長先生が特に大切に思うことを話します。まず、自分を大切にするとどうすればいいの？わかる人いますか？・・・勉強がわからない・サッカーや野球・バスケットボールなどが上手にできない・友だちとうまく話せない・友達と仲良くできない・・・などで悩んだり、悲しくなったりすることがあるよね。うまくできなくて、すぐに「もうやめた。私にはむり。」と、とても悲しくて、泣きたくなる人もいるかもしれません。そんな時は、泣いていいんです。大きな声で泣いていいと思います。泣いたら、なんだかすっきりしますよ。泣いて心がすっきりしたら、誰かに相談してごらん。あなたのすぐそばに、あなたを見つめている人がいます。お家の人だったり、先生だったり、友達だったり・・・あなたの頑張りを応援してくれる人が必ずいます。 次号に続く・・・

